

平成 30 年度 中区障害者自立支援協議会 第 1 回 計画相談部会	
日 時	平成 30 年 4 月 27 日 (金) 15 時～17 時
開催場所	中区役所 601 会議室
出席者	13 団体 19 名 【敬称略】
欠席者	2 団体
開催形態	公開 (傍聴人: 名) ・ 非公開
議 題	<p>1 はじめに (事務局より)</p> <p>中区自立支援協議会についての説明と、構成員で部会を盛り上げ、事務局は裏方で支える役割である事の説明</p> <p>2 自己紹介</p> <p>3 ミニ講座</p> <p style="padding-left: 40px;">「移動情報センターの役割と支援内容について」</p> <p style="padding-left: 80px;">講師：移動情報センター 窪田 美春氏</p> <p>・移動情報センターの役割と、支援内容についてパワーポイントを使って説明あり。また、利用者から依頼を受けて、サービス探す際にどのような工夫や難しさがあるかなどをわかりやすく説明あり。</p> <p>4 自分以外の計画案を見てみよう！！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分以外の計画案を見て気づきの共有しよう。 <p>【1 グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の積極的な思いが受け止められている。 ・当事者団体での社会参加を後押しするいいプランだと思う。 ・本人の意向の吸い上げが上手だと思った。どんなやり方でやっているのだろうか？ ・インフォーマル、フォーマルサービス両方が組み込まれていて、計画案を見て、その利用者さんの生活ぶり、ご本人像が想像できた。 ・利用者像が計画案から見えてきた。アセスメントがきちんとできているのだと思った。前向きになれるいいプランがあった。 <p>【2 グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「局からの指導」というワードが強くなってしまい、誰のための計画がわからなくなりそう。 ・「～したい。」という本人目線での表記を求められているかと思う。説明を受ける側の目線で見ると、「～したい。」と言いつけられているの

で、それが、100%自分の意見ととられそうで怖かった。

・移動支援がその人を支援するプラン全体の中で、どんな位置なのか見えた。移動サービスセンターとして、支援対象者の方のよりよい生活を考え、作成した内容を実現するお手伝いできるようにがんばりたい。

・大変だけど、本人用の物（写真などを使ったご本人にとって分かりやすい計画案）があるといいなと思った。

・生活の様子が目に浮かぶ、イメージしやすい、わかりやすかった。

・これだけの枚数の計画案が揃うと、ご本人、相談員の個性、特性が分かる。ご本人の思いにはとてもリアルなものがあった。

・解決すべき課題の所に、家族から出るニーズを書かざる得ない。計画には書けない今後の不安をどうしたい良いかわからない。

【3 グループ】

・自分以外の計画案を見て、今まで達成時期、評価時期あまり意識できていなかった事に反省。

・「課題解決のための本人の役割」が各目標ごとに丁寧に示されていた。わかりやすかった。

・サービスありきの計画書とならないよう作成する時の参考になった。（留意事項の記入等）

・その他留意に現状の細かい部分、配慮事項があると分かりやすい。イメージしやすい。

・その他留意事項に本人のストレングス（優しさ、気遣いが出来る）が記載している事が参考になった。

・本人/家族の思いを分けて書く場合の見立て難しい。

・留意事項に、本人の強みが記載されていた。

【計画書式に関して質問・確認事項】

・サービス等利用計画案の計画案作成日は、作成日、提出日のどの時点での日にちを入力すれば良いかわからない。⇒後日確認して報告。

5、その他（情報共有）

・自立支援協議会 代表者会議について（5月18日 14:00～）

・平成30年度 横浜市相談支援基礎研修開催について（別紙参照）

○次回：6月22日（金）15:00～17:00 中区役所 601号会議